

平成 29 年第 7 回 沼津市教育委員会定例会会議録

1 日 時 平成 29 年 7 月 20 日 (木) 午後 3 時～午後 4 時 50 分

2 場 所 沼津市役所 3 階 第 3・第 4 委員会室

3 日 程

(1) 開会

(2) 会議録署名人の指名 (三好委員 重光委員)

(3) 教育長報告

(4) 議 案

議第 18 号 平成 30 年度使用の沼津市立沼津高等学校教科用図書の新採択について

議第 19 号 小学校「特別の教科 道徳」の教科用図書の新採択について

(5) 協 議

なし

(6) 報 告

1) 平成 29 年 6 月市議会定例会一般質問等について

2) 第 32 期沼津市社会教育委員の意見具申について

3) 新聞閲覧台の寄贈について

(7) その他

4 出席者等

教育長 服部裕美子、教育長職務代理者 三好勝晴、委員 土屋葉子、委員 川口浩史、委員 重光純、教育次長 山田昭裕、教育企画課長 真野正実、学校管理課長 佐藤高志、教育指導監兼学校教育課長 大川淳、学校教育課指導主事 相磯雄一、市立沼津高等学校長兼中等部校長 樋口和男、市立沼津高等学校事務長 大川郁夫、教職員研修センター所長 川口郁代、教職員研修センター指導主事 吉田和弘、文化振興課長兼戸田造船郷土資料博物館長 中島康司、生涯学習課長兼勤労青少年ホーム館長兼ゆめとびら舟山所長兼都市計画部香陵公園周辺整備室副参事 原恵子、青少年教育センター所長 小林孝子、図書館事務長 山本晴望、スポーツ振興課長兼インターハイ準備室長兼勤労者体育センター所長兼都市計画部香陵公園周辺整備室副参事 山岡慶博、調整担当教育企画課長補佐 矢田陽子、教育企画課主任 飯田彩美、教育企画課副主任 長剣吾

5 会議内容

服部教育長が、午後 3 時 00 分開会を宣言する。

服部教育長より会議を公開とすることを委員に諮り、了承される。

傍聴人 6 名

(1) 会議録署名人の指名

服部教育長より会議録署名人に重光委員、三好委員を指名する。

(2) 教育長報告

はじめに、私から6月・7月の報告をさせていただきます。

6月市議会定例会が6月6日から27日までの22日間の会期で開催された。

のちほど、事務局より提出議案や一般質問等についての詳細は報告するが、私から一言報告したい。

小中学校の登下校時の安全確保や発達段階に合わせた交通安全教育、留守家庭児童が過ごす放課後等のあり方などの質問があった。事故や不審者などから子どもの安全をどう守るかという質問については、子どもへの計画的な教育だけでなく、地域ぐるみで見守る重要性について答弁した。

また、5月の市長学校訪問に関しての認識について質問があった。市長に学校現場の現状や課題を把握していただくために、まず現場を見ていただくことが重要であると考えていること、参観や学校長との懇談を通じ、市長には現状を把握していただいたと認識していること、そして今後もよりよい教育環境の整備を図るために、多くの方々と力を合わせてまいりたいことを答弁した。詳細については後ほど事務局より報告する。

13日には、内浦連合自治会長と内浦小学校PTA会長が面会に訪れ、内浦小での複式学級解消のための要望書が提出された。

教育委員も5月に内浦小の訪問によりご覧になったとおり、複式学級では1人の教員が2学年の異なる授業を同じ教室内でかけもちで行っている。主要4教科を除く授業とはいえ、そのような状況は安全面、学力面、教員の負担の増加、教員配置の調整の難しさなどを地域の保護者としても大変憂慮していること、来年度も今年以上に困難な状況が予想されることから、市単独の臨時講師の任用について要望があったもの。教育委員会として、児童・教員・地域の要望を重く受け止め、よりよい学校環境を作っていくために、具体的な対応を検討していきたい。

30日には、県東部総合庁舎にて、静東教育事務所管内教育委員長・教育長連絡協議会及び静東教育事務所管内教育長会が開催された。会議では、教職員人事評価制度の検討についての説明があった。テーマ別の検討では、教職員の多忙化解消に向けての各市町の取組をもとに検討を行った。担任でなくてもできる業務を洗い出して、支援員が行う。部活動やスクールカウンセラーなどの専門スタッフを活用する。支援員を増員する。このほか教員自身の意識改革をする。・・・など重要課題として取り組んでいることが報告された。沼津市としては、支援員の増員や事務処理の一層の電算化と標準化、出退勤記録をもとにした教員の個別指導などを報告した。また、沼津市では昨年8月に市内小中学校一斉の閉庁日を1日設けた。今年はさらに8月14、15日の2日間を閉庁日とし、全教職員が夏休み期間に休みをとることができるように支援しているところである。ほかの市町でも取り入れるところが出てきている。教職員の多忙化解消、働き方改革は、教職員が子どもに対する本来の業務に力を注ぐことができるようにするためにも重要なことであり、教育委員会としても様々な視点から考え工夫をして取り入れていきたいと考えている。

7月に入り、12日は、大岡小学校を市長が訪問し、教室で子どもたちと一緒に給食をとった。6年生の子どもたちが大変明るく、市長に話しかけ、会話を楽しみながら給食の時間を過ごした。給食室の視察や管理栄養士から学校給食について話を聞き、給食への理解を深めていただいた。また、給食の後には校長と学校現場の現状について懇談を行い、市長からの様々な質問に校長が答え、現場の課題、教職員の多忙な状況など理解を深めていただいた。

また、14日（金）は、沼津市議会文教産業委員会の議員の皆様が、内浦小学校の複式学級の様子、第四小学校の通級学級の様子を視察した。内浦小では、複式学級である3・4年生の音楽の授業を参観した。教師が4年生のリコーダーの指導、3年生に歌唱指導を交互に行っているようすを参観したあと、校長からの報告を聞き、教師の教材研究や準備の大変さ、年間のさまざまな行事の計画についても2学年行うことへの負担感などさまざまな点について認識を深めていただいた。第四小学校では通級教室おひさまで、子どもと教師が一对一で支援計画に基づき学んでいる様子を参観した。その後、校長を交えての懇談の後、通級教室や特別支援学級、通常学級における特別支援のようすなど、特別支援教育に対する理解を深めていただく時間を持った。学校の現場の様子はなかなか伝わりにくいため、今回のような機会は、大変貴重であると考えている。

市内小中学校がいよいよ7月22日（土）から8月28日（月）まで、夏休みとなる。各学校では、子供たちが夏休みならではの充実した体験・生活をし、たくましく元気に二学期を迎えることができるよう、休み前の指導に力を入れているところである。教職員はさまざまな研修計画等があるが、休みを取り、リフレッシュをし、充実した夏を過ごせるようにと考えている。教育委員の皆様においては、夏休みの子どもたちの様子についてお気づきのことがあったらお知らせいただきたい。

以上。

続いて、事務局から、その他の6月・7月の主な行事等について、報告をする。

教育企画課長

6月1日は「牛乳の日」、6月が「牛乳月間」であることから、金岡の酪農生産者、武井牧場の市長表敬訪問があり、教育長が同席した。市では地産地消の一環として、昨年度大平幼稚園で、武井牧場の牛乳についての講話と牛乳の試飲を行ったが、今年度は小学校でも行いたいということで、6月20日、原小学校5年生を対象に、酪農に関する食育教育の授業が行われた。

6月10日は、第36回沼津市わたしの主張大会が市民文化センターで開催された。ご臨席いただいた教育委員の皆様、ありがとうございました。当日は、市内中学校19校2,630人が応募した中から、各学校の審査により決定された19人が発表し、多くの学生、市民の来場があり、中学生の発表に耳を傾けていた。

7月3日は、沼津市表彰式が開催された。市政の進展に特に功績のあった個人又は団体を顕彰するもので、今年は96名・1団体が表彰された。教育委員会の関係においては、教育委員会事務局各課から推薦を行った学校医、少年補導員などの教育功労者9名、沼津市芸術祭実行委員などの文化功労者4名、また、連合自治会からの推薦により、地域の小学校の交通安全パトロールなどを自発的に10年以上の長きにわたって続けてこられた5名の功労者が表彰された。

6月30日、7月5日、14日、18日は市長表敬訪問があり、6月30日は教育次長が、そのほかの日程は教育長が同席した。

まず、6月30日は日本空手道鴻志会養成館道場の選手21名が県大会で優秀な成績を収め、8月に開催される全国大会に出場することになったとの報告があった。

5日は、沼津市役所所属、市民体育館に勤務している太田麻乃選手が、明後日22日からポーランドで開催される相撲競技の世界大会に出場することになり、報告を行った。

今月はこの後も、24日、25日、31日に沼津西高等学校インターハイ出場選手、柔道の選手などの市長表敬訪問が予定されている。

以上、報告とさせていただきます。

服部教育長

以上、説明が終わったが、質問等はいかがか。

特にないようなので、以上で教育長報告とさせていただきます。

<議案>

服部教育長 それでは、日程(4)議案について。
議第18号と議第19号を続けて審議する。

議第18号 平成30年度使用の沼津市立沼津高等学校教科用図書の新採択について
(市立高校長 資料に基づき説明)

議第19号 小学校「特別の教科 道徳」の教科用図書の新採択について
(教職員研修センター所長 資料に基づき説明)

服部教育長 説明が終わったが、教科用図書の見本をご覧ください前に、ご質問、ご意見はいかがか。

三好委員 道徳の教科書の採択までの流れのなかで、1者に絞られたのはどの段階か。

教職員研修センター所長

資料内の図、7番に指し示したところになる。

地区教科書研究委員会が研究をして、採択案として1者を絞る。

服部教育長 ほかにいかがか。

川口委員 その地区教科書研究委員会のメンバーの選抜方法は。

教職員研修センター所長

3市3町、御殿場、裾野、清水、小山、長泉のそれぞれの教育委員会事務局と連絡を取り、教育長に出席をしていただいた。具体的に研究を行う教員は、それぞれの地区から推薦されている。

保護者代表は、PTA各地区から推薦される。

三好委員 教科書にいろいろと特長があると思うが、道徳というのは、九九を教えるのとはわけがちがう。一般的に「こうあるべき」というのは話をするにしても、子どもたちに考えさせる、どうしてこうなのか、疑問を持てるというように現場が、そういう授業をしていけたらよいのでは。

服部教育長 そういう点については、各市町の教育長からも意見が出ているところである。それでは、実際に教科用図書をご覧ください、そのあとでご意見をいただき

たいがいかがか。それでは10分ほど時間をとりたい。

(10分ほど、教科用図書の閲覧)

服部教育長
三好委員

ご質問、ご意見いかがか。

高校の教科用図書について、学校で採択案をまとめているが、どのように選んでいるか。

市立高校長

英語であれば英語担当教員が全員で選ぶ。だれかが決めるのではなく、読み合わせをしたりして検討を行う。社会でも、地理の教科書を、地理の担当教員が決めるのではなく、歴史の担当教員も一緒になってみんなで検討した。

三好委員

デザインとか、発達教育とか、いろんな教科書があるが、そのような教科書があってみんな受ける授業なのか。

市立高校長

選択教科の教科書もここに含まれている。

重光委員

教師が使う指導用教本は、採択案作成にあたり、検討を行ったかどうか。

市立高校長

副読本や指導用データなどは参考とした。

教職員研修センター所長

道徳の教科書については、子どもが見るということを第一に考えたので、指導用教本は参考としていない。

服部教育長

それではお諮りする。

議第18号 平成30年度使用の沼津市立沼津高等学校教科用図書の採択について、内申どおり採択することでよいか。

各委員

異議なし。

服部教育長

異議なしと認める。

議第18号 平成30年度使用の沼津市立沼津高等学校教科用図書の採択について、内申どおり採択することに決する。

続いて、議第19号 小学校「特別の教科 道徳」の教科用図書の採択について、駿東沼津地区教科用図書採択連絡協議会の意見どおり採択することでよいか。

各委員

異議なし。

服部教育長

異議なしと認める。

議第19号 小学校「特別の教科 道徳」の教科用図書の採択について、駿東沼津地区教科用図書採択連絡協議会の意見どおり採択することに決する。

<協議>

服部教育長

日程(5)協議事項は、本日は案件はなし。

<報告>

服部教育長

それでは、日程(6)報告に入る。本日の報告事項は3件。

1) 平成29年6月市議会定例会一般質問等について

(教育次長 資料に基づき説明)

服部教育長

説明が終わったが、本件に対するご質問、ご意見等はいかがか。

川口委員

エアコンについて、教室の室温調査を5月から行っていると聞いている。

熱中症の発生の危険性を確認したことがあるかどうか。

熱中症になりやすい温度や湿度が何度なのか、把握しているかどうか。

学校管理課長 熱中症発生の危険性のある温湿度のめやすはある。

教育次長 それを学校でどのように対応しているかは、学校管理課では把握していない。

学校教育課長 調査結果がまとまるのは9月下旬以降となるが、各教室で2台扇風機を活用している。また、生徒に水筒を持参させ、水分補給に努めている。

服部教育長 各学校の職員室か保健室に、「熱中症警報」という図があり、パッと見て、わかるようになっている。窓を開けたり、扇風機を回したりという対応をしている。

三好委員 小学校では、生徒が判断しにくいところがあるので、養護教員が中心になって保健委員の生徒などが、熱中症の危険があると放送で呼びかけたり、昼休みなどの遊びでも水筒を持っていくなどの注意をしたりしている。

学校管理課長 昔と今では暑さが違う。暑くなっているのはたしかである。

三好委員 しかし、予算があればエアコンがとくに導入できているはずで、それが難しいところがあると思うが、校舎も古くなっているので今エアコンだけつければいいということでもない。とはいえ、なるべくエアコンがついた環境に生徒を置いていくということに時代がなっていくから、予算をつけていくように働きかけてもらわないとならない。市長も現状を見ていることだから。

土屋委員 また、トイレの問題もそうである。環境整備にもっと予算をつけてほしいと思う。財政上難しいこともわかるが、少しずつでもやってもらいたい。

学校教育課長 今年度から、特別教室の図書室、音楽室には必ずエアコンを設置するという事業を5年で行うよう進めている。校舎の老朽化の問題もあり、また普通教室だけで100を超える教室があるため、どのように進めていくことがよいか検討を進めているが、すぐに答えが出ない状況ではある。

土屋委員 なるべく早く進めてもらいたい。

服部教育長 登下校のスクールガードのことについて、各学校でボランティアとして見守りをしている人が足りないという声はないのだろうか。学校によって環境も違うし、ボランティアが揃わないところがあるのでは。

学校教育課長 質問があった段階でいくつかの学校に聞いたところ、ボランティアが少なく困っているという回答はなかった。

土屋委員 見守りが足りないところはないのだろうか。

服部教育長 スクールガード事業として推進していた時期があり、全市立小中学校で、継続的に行っているところがほとんどであると思う。

学校教育課長 スクールガードリーダー事業というものが10年ほど前に行われ、地域の見守りのリーダーとなる人を養成して、その人たちがボランティアを集めて、スクールガードの体制を整えるということを行った。事業が終了後もこれを続けてスクールガードを行っているというのに加えて、地域の人たちが自主的に通学路上で見守ったり散歩に出たりして見てくださる、さらにPTAでも危ないと思われる箇所にて交代で旗振りをして誘導したりしている。

服部教育長 その他、何かあるか。

三好委員 ないようなので、本件は報告を受けたということでご了承願う。

服部教育長 続いて、2) 第32期沼津市社会教育委員会の意見具申について。

2) 第32期沼津市社会教育委員会の意見具申について

(生涯学習課長 資料に基づき説明)

- 服部教育長 説明が終わったが、現在進めている検討というのはあるか。
- 生涯学習課長 情報を集約する必要性を感じている。広報ぬまづ、さんさんだより、「沼津まなぶくん」というFacebookなどで定期的に発信をしているが、体系的に整理しているものがないので、検討しているところである。
意見具申に対して、おっしゃるとおりという部分が多く盛り込まれており、関係する部課とも相談して進めていきたい。
- 服部教育長 意見具申において、生涯学習センターとして、図書館4階という具体的な場所が提示されていたが、図書館として進めている検討はあるか。
- 図書館事務長 現在の図書館4階の稼働状況であるが、主催事業のほか、市民団体が定期的に4階講座室を使用している。昨年度実績では98団体、延べ308回、ほとんど毎日どこかの団体が使用しており、土日はほとんどすべてが埋まっている状況がある。そのような状況を検証しながら、意見具申の内容をどのように実現できるか検討している状況である。
- 服部教育長 本件に対するご質問、ご意見等はいかがか。
- 三好委員 生涯学習課長が言ったように、行政は縦割りで、市民が情報がどこにあるかということを知っていればもちろん取ってくることができるが、「ここにいけば情報を取りにいけることができる」というものがあればわかりやすいのと思う。それはいろんなものが沼津市全体に言えることであって、例えば文化施設が点在していて、集中していない。集客する力がない。どうしてもそういう傾向がある。そのことを突いているような意見具申であると感じた。拠点的なものができたら、市民のためになり、沼津がいい場所になると思う。
- 川口委員 私は地区センターの中の施設で働いているので、地区センターがどのように利用されているかよくみえる。そこで感じるのは、高齢者が増えてきているので、やりたいことがあるのにどこにいけば情報がつかめるかわからないで困っている。ここに行って探せばわかるという場所があるといい。
- 重光委員 情報の提供というのは、SNSやメルマガとかいろいろあるが、高齢者にとってはツールを活用するのが難しいところがある。近隣市町で上手な広報をしているとか、生涯学習が充実しているところをモデルとして、ヒントとするのがよいと思う。
- 土屋委員 個人個人が生涯学習をやりたいと思っても、どこから情報を得るかというのがわからないということが多いと思う。広報ぬまづも熱心に見ている人もいるとは思いますが、だれでもそこにいけばわかるという拠点があるとよい。
- 服部教育長 施設の在り方も含め、市としての考え方を検討してまいりたい。
以上で、本件は報告を受けたということでご了承願う。

服部教育長 続いて、3)新聞閲覧台の寄贈について。

3) 新聞閲覧台の寄贈について

(学校教育課長 資料に基づき説明)

服部教育長 説明が終わったが、本件に対するご質問、ご意見等はいかがか。
ないようなので、本件は報告を受けたということでご了承願う。

<その他>

服部教育長 その他、何かあるか。

ここで小中学校が夏休みに入るが、学校の様子について何かあるか。

学校教育課長

1学期の終業式を迎える。開北小がテレビ取材を受ける予定である。

不登校については、小学校は昨年度と同程度、中学校は減少傾向、いじめの認知件数については、小学校は昨年度より減少傾向、中学校はやや増加傾向にある。7月までの数字については、8月に集計するのでその後に報告を行う。問題行動については、小学校では減少傾向にあり、落ち着いた生活が送れている。学級崩壊などという報告はない。中学校についても減少傾向にあり、ただ、一部の学校には多いところもあると聞いている。

服部教育長

その他、何かあるか。

ないようなので以上をもって本日の定例会を終了する。

午後4時50分 閉会